

自然エネルギー信州ネット 平成 24 年度 定時総会 議事録

1. 開催日時：2012 年 6 月 7 日（木）14：00～19：00
2. 開催場所：長野県職員センター2 階会議室
3. 理事、監事の数ならびに出席理事、監事の数
 - (1) 理事数 9 人、 監事数 1 人
 - (2) 出席理事数 8 人、出席監事数 1 人
出席理事：茅野（会長）、平島、葦木、沖野、傘木、月岡、寺澤、原
出席監事：高木
4. 出席会員数 72 名
5. 議長：茅野 實
6. 議事経過の要領とその結果

第一部 自然エネルギー信州ネットの活動概要紹介

事務局長より、自然エネルギー信州ネットのこれまでの活動概要が紹介されました。続いて各専門部会長より、活動報告と 24 年度の取組みが紹介されました。太陽光部会：西原氏、小水力部会：仁科氏 バイオマス部会：田中氏、グリーン熱部会：中村氏、マネジメント部会：久保田氏、政策調査部会：平島氏、ファイナンス部会：宮下（部会長欠員のため、代理報告）
続いて、地域協議会（松本地域、諏訪地域、佐久地域、上小地域、飯伊地域）から簡単な活動報告がありました。

第二部 総会

会長あいさつ、来賓（原 長野県環境部長）あいさつで始まりました。

第 1 号議案 平成 23 年度 事業ならびに活動報告

第 2 号議案 平成 23 年度 収支決算ならびに監査報告 の件

議長の指名で事務局長より資料を説明した後、高木監事より監査の報告がありました。
23 年度の活動報告とそれに係る決算報告が承認されました。

（監事より）

この 1 年で組織が巨大化し、やるが増えて、全体像の把握がなかなかできない状況にあり、監理も大変になっている。一人では荷が重すぎるので、なるべく早く監事二人体制の整備をお願いしたい。

第3号議案 平成24年度 事業計画（案）

第4号議案 平成24年度 収支予算計画（案） の件

事務局長より内容を説明し議場に諮ったところ、事業計画に「会費制度の会員獲得目標と会費による事務局運営事業について」の記載を求める意見があり、審議の結果、事業計画に追加記載することで審議し可決されました。

第5号議案 会費制度導入と会費の設定および規約改正 の件

事務局長より、自然エネルギー信州ネットの会費制度案と、それに伴う規約改定案を説明し、議場に諮ったところ、複数の会員のみなさまから会費についてのご意見をいただき、審議しました。

（会費制度 事務局案）

正会員 団体（企業、営利団体等）：10,000円【決議権あり】

※自然エネルギーの普及に主体的に取り組みたい団体代表者、専門分野の研究者

正会員 団体（NPO、市民団体）：6,000円【決議権あり】

※自然エネルギーの普及に主体的に取り組みたい非営利団体代表者

正会員 個人：6,000円【決議権あり】

※自然エネルギーの普及に主体的に取り組みたい個人

準会員 個人：3,000円【決議権なし】

※本会の活動に参加する個人

情報会員（団体、個人）：0円【決議権なし】

※情報交換などにより会の活動に参加するのみの団体、個人

賛助会員（団体、個人）：1口 20,000円【決議権なし】

※本会の活動を支援する団体、個人

行政会員（行政機関）：0円【決議権なし】

※行政の立場から本会の円滑な運営を支援する団体（広報、会場提供等）

◎全ての会員区分において、メールを使用しない会員への通信費を1,000円/年とする

（会費に関する意見：会員より）

・会費の話は初めて聞いた。信州ネットの発足時に会費の件を確認したところ「当面は会費を設定しない」といわれた。当面が「1年」だとは認識していなかった。町村レベルのボランティア団体からすると、年間6,000円の会費支出は厳しい。団体として参加していることに意義があるので、今すぐ、この場で賛否を判断できない。会員に事前にアンケート調査するなどの丁寧な打診があつて然るべきではなかったか。今は、1つでも多くの団体に加入してもらうことに力を注ぐべき。

・今年の予算を見ると受託金が1700万円減少している。次年度以降の見通しはどうか。併せて、自主財源としての会費の必要性についてもう少し詳しく説明して欲しい。また、会費以外に寄付金を募る努力も必要ではないか？

(事務局より)

・委託事業が1つなくなったから、会費制を導入したということではない。受託金は受託事業（プロジェクト）に必要な経費部分に対しての支出なので、仮に受託事業がなかったとしても信州ネットを運営するための最低限の経費は会費で賄いたい。初年度はどのような事業を行う団体なのかが明確ではなかったため設立総会では会費を設定せず、継続して検討することになっていた。寄付金も財源に充てていきたいと考えている。地球環境基金の事業で「信州マイエネルギー基金」のしくみを検討していく中で寄付金のあり方も整理していきたい。

・会費の区分に年会費無料の「情報会員」を設けている。会費制度への移行にあたって検討が必要な現会員のみなさまは、一旦「情報会員」とさせていただき、情報のやり取りを通じて会費へのご理解をいただきながら、逐次移行をご検討いただきたい。

(理事より)

・「情報会員」の件は、運営会議でも重視されていた。裾野を広げるために幅広く情報会員を集めて、正会員への入り口にもしていきたいと考えている。本総会で会費について議決いただけたら、事務局と現会員の間で会員区分を選択していただくためのやりとりが発生する。単に会員区分を伺うだけではなく、総会での議案をお送りして、私たちの活動に対するご意見や会費に対するご意見をいただきながら進めて行ってはどうか。

(会員より)

・6月30日までに会費を納めて欲しいとあるが、この日までに振り込みがなければ「情報会員」という理解で良いのか？

(事務局より)

・6月30日で締め切るという趣旨ではない。6月30日以降も随時、会員区分の移行受付や新規会員の募集を行っていく。会員名簿をホームページで公開するための事務的作業の関係で、6月30日時点で、一旦新会員区分の名簿を公表させていただきたいという趣旨。

(会員より)

・会費を取ることにについて、もう少し慎重に手順を踏んで検討すべき。「情報会員」に移行する選択肢もあるが、議決権がなくなってしまう。今一番必要なのは、どれだけ主体的に

関わる会員を多く集めて裾野をひろげ、知恵とマンパワーを結集すべき時だと思う。

- ・信州ネットとしての収支の長期ビジョンを示して欲しい。年会費だけでやっていくのか？

(事務局より)

・会費(目標)165万円は、1年近く運営した経緯から必要最低限の費用を算出した。信州ネットを持続可能に運営していくためのベースラインと理解していただけるとありがたい。この部分を会費収入によって賄いたいと考えている。(資料4-2)

(会員より)

・パンフレットにある「化石燃料から自然エネルギー利用へ。みんなで考えて地域でつくる」ということばが、信州ネットの理念だと思う。信州ネットの長期ビジョンは我々会員が自分たちで作りに上げていくものではないか。事務局では基本的な資料作りを行っており、感謝している。会員がいっしょに作りあげて行く意識でやっていけば前に進むのではないか。会費の支出は厳しいが、何とか信州ネットの運営を安定させて、長野県から全国に広げていきたいという気持ちでいるが、皆さんいかがでしょうか。(会場より拍手)

- ・「情報会員」と「正会員」の違いは？信州ネットの専門部会に関心があり、活動はしないが、部会に出て話だけ聞きたいという場合は「情報会員」でもよいのか？

(事務局より)

・「情報会員」につきましては、情報が流れるのみということでご理解いただきたいが、各部会で開催する講習会等は、オープンな(一般参加可能)なものもあるので、その都度対象者を明確にしてご案内していきたい。オープン参加の機会は増やしていきたいと考えている。

以上の意見交換を経て、会費制度についての賛否を議場に諮りました。

- ①「会員には、さらに詳しい情報提供を行い検討を頂いた上で決定すべし」
- ②「本総会で採決し、新たな会員区分の案内時に詳しい説明を添えるべし」

②への賛成多数をもって、会費制度ならびに規約の改正につきまして、原案通り承認可決されました。

第6号議案 役員人事(変更)の件

事務局長より、役員人事変更の事務局案について説明がありました。

- ・天野監事の退任にともなう監事の補充は行わず、残任期間は欠員のままとする。

・長野県環境部温暖化対策課中島課長は、「行政会員」に移行されることと併せ、会長権限によって理事から顧問に移行とする。

・環境エネルギー政策研究所の飯田哲也氏を新たに顧問に就任いただく。

以上の役員人事変更案を議場に諮ったところ、満場異議なく承認されました。

第7号議案 役員、地域協議会、部会等「連絡会」の開催 の件

事務局より相互の連携強化を目的とした「連絡会」の開催案について説明があり、専用メーリングリストの設定と、年内4場所での連絡会開催について可決決定しました。(第1回連絡会は諏訪地域で開催の予定ですが、詳細は後日お知らせする。)

(資料訂正)

- ・各地域協議会は「開催主体」ではなく「協力団体」とする
- ・上伊那地区の開催月は「4月」ではなく「3月」とする

第8号議案 ワーキンググループ の件

事務局より、ワーキンググループ立ち上げの趣旨ならびに概要について説明がありました。昨年度の環境省からの委託事業「地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務」での2部会を発展させ、よりオープンな形の合同部会形式で、事業化の検討と地域コーディネーターとなる人材育成に取り組む旨について、原案通り承認されました。

運営会議の議長より

会費制度について、貴重な意見をいただくことができた。会員数が250名を超えている中でどうやって運営していくかを話し合う場が運営会議で、会費については今年の2月から公開の運営会議でも議論して、ホームページでも議事録を公開しているが、どうやったらもっと会員の皆さんの意見を吸い上げて運営に反映していけるのか、悩みながら取り組んでいる。信州ネットはより風通しの良い運営をしていきたいと考えているので、ぜひご意見、ご提案をいただければと思います。

その他 (お知らせ)

- 1) 今年度の地域協議会、専門部会の支援について
- 2) 地域で活動するNPO支援・連携促進事業について
- 3) 長野県からの各種お知らせ

以上、すべての議案の審議を終了し、閉会いたしました。

(議事録作成 小田切)